

湘南地区メディカルコントロール協議会湘南MC外傷セミナー カリキュラム

1 湘南MC外傷セミナーの到達目標

湘南MC外傷セミナーの到達目標は、病院前救急医療において、湘南地区メディカルコントロール協議会の定める外傷救急活動ガイドラインを理解し、各段階における観察・処置を迅速、効果的に行えるよう、外傷標準化プログラムの正しい知識および技術を習得する。

2 湘南MC外傷セミナーの個別目標

- (1) 救急活動現場の状況評価を行うことができる。
- (2) 傷病者の初期評価を適切に行い、生理学的異常を発見し、必要な処置を実施できる。
- (3) 傷病者の全身観察を適切に行い、解剖学的異常を発見し、必要な処置を実施できる。
- (4) 傷病者の重症度緊急度を適切に判断できる。
- (5) 全脊柱固定および緊急処置を適切に実施できる。
- (6) 医療機関への傷病者情報を適切に伝達できる。
- (7) 搬送中の傷病者管理を適切に実施できる。

3 湘南MC外傷セミナーのプログラム

(1) 座学

【到達目標】

湘南地区メディカルコントロール協議会外傷救急活動ガイドラインを理解できる。

外傷による重症度・緊急度の判断ができる。

外傷教育の必要性を理解できる。

【実施方法】

スライド・DVD等を用いて実施する。(事前学習を含む)

(2) 実技

ア 中立位・ネックカラー装着・ヘルメット離脱

【到達目標】

中立位を理解し、ネックカラー装着の適応を判断、正しく装着できる。

ヘルメット離脱のタイミングを理解し、正しく迅速に実施できる。

【実施方法】

ネックカラーのサイジング要領、正しい装着法、中立位の必要性、用手による頭部固定、ヘルメット離脱を受講者に体験させる。必要に応じ指導者がデモを行っても良い。

イ ログロール・各リフト法・全身固定

【到達目標】

ログロール・各リフト法の適応を理解し、正しく実施できる。

全身固定を正しく実施できる。

【実施方法】

ログロール・Z移動・ベルト固定・腹臥位ログロール・各リフト法を実施する。

ウ 気道確保・緊急処置

【到達目標】

気道管理の重要性および緊急処置の適応を迅速に判断し、適切な処置ができる。

【実施方法】

下顎挙上法、修正下顎挙上法、バックバルブマスク換気等を実施する。

三辺テーピング、フレイルチェスト固定、腸管脱出、穿通性異物固定、活動性出血、四肢整復の処置を実施する。（必要に応じて写真を用いる）

エ 状況評価・初期評価・全身観察

【到達目標】

事故現場の状況を正しく評価し、状況に応じた対応ができる。

傷病者の生理学的異常および解剖学的異常を適切に観察して、重症度緊急救度を適切に判断し、必要な処置が実施できる。

【実施方法】

状況評価については写真を用い、初期評価および全身観察についてはシナリオを用いて実施する。

オ 車内活動

【到達目標】

傷病者情報の医療機関への伝達の必要性を理解する。

継続観察、詳細観察を適切に実施し、必要な処置が実施できる。

【実施方法】

初期評価からリンクしたシナリオを用いて実施する。

カ 車外救出

【到達目標】

緊急救度（傷病者の状態、事故現場の状況）に応じた車外救出法を選択、実施できる。

立位でのバックボード固定、K E Dの使用方法およびその実施状況を理解できる。

【実施方法】

車両を使用し、状況に応じた車外救出法を行う。指導者がデモを行ってもよい。

立位バックボード固定、K E Dは展示のみとすることができる。

キ シナリオステーション

【到達目標】

状況評価から車内活動までの一連の行動を理解し、実践できる。

【実施方法】

初期評価からリンクさせたシナリオを用いて実施する。

ク 評価

筆記試験および実技評価を行う。